

考案新

社開新登常所行授
九五町南町平野島原
次藤 藤 伊 人 行 登
一港古町濱名小縣島原

刊夕日四月六
一月月 三十錢
一 部 二 錢
二 部 一 行五十錢
廣告料 一行五十錢
場所指定 十錢増
日曜祭日登日休刊
赤井村嶺前小野キケン(五)は
一昨年四月頃平町田町吳服
店宮川三郎より女帯地反物
四圓七十錢の価格の物を窃
取した事が發覺し三日檢擧
平署にて取調中

萬引女捕わる

赤井村嶺前小野キケン(五)は
一昨年四月頃平町田町吳服
店宮川三郎より女帯地反物
四圓七十錢の価格の物を窃
取した事が發覺し三日檢擧
平署にて取調中

小名濱農豚組合 幹部會招集

五日午後七時小名濱町役
場樓上で小名濱豚販販賣組
合の幹部會が開かれる。
協議事項
一、豚丹毒、豚コレラ、豫
防注射、消毒に關する件

今年のかつを 豊漁とはゆくま

磐城沖へは今年末

【中山小名濱水産試験場長談】
方々でかつを大漁のこゑの先進地を視察し三日小名
が閉めるが、この沖合には浪に一泊した。
いつ頃やつてくるのか、今
年の漁の豫想はどうか、今
中山小名濱水産試験場長に訊
いて見ると

現在千葉縣沖二百マイル
がかつをの漁場です。こ
の邊に来るのはまあ今月
末でせうが値段が安い上
にいつもよりはすくなく
さく精々四五百々くら
いのもです。一昨日歸つ
た磐城丸はたつた三百本
しか釣れませんでした
肝心の水産は例年より低
いし、どうも今年は豊漁
とはゆかんでせう、先づ
平年普みといったところ
ですと語つた。

入山ガス爆發

平町にて醜金六百八十圓に及ぶ
既報入山炭礦ガス爆發惨事
殉職者に対し各隣町村では
遺族を慰めるべく弔慰金
の巨額に達した

入山ガス殉職者に弔慰金

入山ガス殉職者
入山ガス炭礦城炭礦でも
内郷村炭礦炭礦労働では
去る二日より入山ガス殉
者に弔慰金贈るべく高坂住
民に引渡せる二百圓

松本一郎氏

長所と短所
松本一郎氏は縣下第一の製糖にして人を信じ會社従業員
水會社平製水の専務取締役役員は一の如く統制がとれて
として平、小名濱兩工場に居る魅力的存在である
て五十噸の能率の水を製糖所は何か、芽開にして知
して貯水の暇がないと云ふらないが型より見れば女性
性、恵れた誕生途上の會社の容姿は何人も認める處で
の中心人物である。
あらう
長所は現代的明朗さであらう

小名濱町魚市場調査

(三分)

品名	魚獲高	單價割
品名	魚獲高	單價割
品名	魚獲高	單價割
品名	魚獲高	單價割
品名	魚獲高	單價割

名譽の勳章傳達式

滿洲事變從軍凱旋者

此のほど滿洲事變に參戰、が下附され小名濱町役場宛
滿洲の野に勇戦した小名濱に到着したので明五日午後
町の丹野純一郎君、齋藤安一時より同町小學校講堂で
之を、馬土着吉野の三氏、小野町長初め町會議員、帝
國在郷軍人會小名濱分會員
其の他多數名士參列の上盛
動八等
自和和六年至九年
專從軍記章
一枚

聴け!

軍人後援と講演會
時局問題 講演會
帝國軍人會主催の軍人後援
と時局問題講演會は小名濱
町に於ては六月五日午
町に於ては来る六月五日午

入山ガス殉職者に弔慰金

入山ガス殉職者
入山ガス炭礦城炭礦でも
内郷村炭礦炭礦労働では
去る二日より入山ガス殉
者に弔慰金贈るべく高坂住
民に引渡せる二百圓

法律で制裁を加へ

暴力で制裁を加へ
空ビンの喧嘩
小川村大字上小川高橋百五
十八番高水政治(三)は去る
由三郎氏 貳拾圓菅本庄
吉野氏 貳拾圓菅本庄
吉野氏 貳拾圓菅本庄
吉野氏 貳拾圓菅本庄

散水車ヤア

散水車ヤア
先月から散水自動
車を一つ見えず散水
料を拂つてゐるのは何の爲も結局経費が無いので消防
料を拂つてゐるのは何の爲も結局経費が無いので消防
料を拂つてゐるのは何の爲も結局経費が無いので消防

天気豫報

小名濱洲候所發表
今晚、南風雨後次第に良
なる
明日、南風雨時々曇
紀洲湖岸一石の巻一八丈
鏡子一能登輪島一雨
鏡子一能登輪島一雨
鏡子一能登輪島一雨

視察

菅野金作氏等の視察
双葉郡平野小學校長菅野氏
外拾名の職員農務休暇を利
用し漁村小學校に於ける産
業教育施設状況視察の目的
にて小名濱、江名、豊間等

聴け!

軍人後援と講演會
時局問題 講演會
帝國軍人會主催の軍人後援
と時局問題講演會は小名濱
町に於ては来る六月五日午
町に於ては来る六月五日午

入山ガス殉職者に弔慰金

入山ガス殉職者
入山ガス炭礦城炭礦でも
内郷村炭礦炭礦労働では
去る二日より入山ガス殉
者に弔慰金贈るべく高坂住
民に引渡せる二百圓

法律で制裁を加へ

暴力で制裁を加へ
空ビンの喧嘩
小川村大字上小川高橋百五
十八番高水政治(三)は去る
由三郎氏 貳拾圓菅本庄
吉野氏 貳拾圓菅本庄
吉野氏 貳拾圓菅本庄
吉野氏 貳拾圓菅本庄

散水車ヤア

散水車ヤア
先月から散水自動
車を一つ見えず散水
料を拂つてゐるのは何の爲も結局経費が無いので消防
料を拂つてゐるのは何の爲も結局経費が無いので消防

天気豫報

小名濱洲候所發表
今晚、南風雨後次第に良
なる
明日、南風雨時々曇
紀洲湖岸一石の巻一八丈
鏡子一能登輪島一雨
鏡子一能登輪島一雨
鏡子一能登輪島一雨

平小鐵道敷設に付いて

小名濱町有志家の反省を求む

豊岡村 遠藤 徳次

過般來常新開社に於て平優良なる漁業地あり豊岡濱小鐵道敷設に付て三ヶの質は大敷網漁業ありて何れも問を發したるに對し小名濱年々向上發展つゝ多大なる町有志家諸君の之に答へた産額を上げ海産物の加工製造年々隆昌も吾人をして首肯せしむるを致し其輸送の量も蓋し鮮御高論なきは甚だ遺憾に堪ふにあらざる而して其原料はへません今各位の論旨を綜小名濱及江名方面より供給合すれば商港と裏日本の連を受く故に小名濱對片濱連絡、海陸物資の集散、國防りとは諸般の取引と共其上の關係、炭礦は將來鹿島人事の往來頻繁なり夫れ斯村方面へ進出する故に鹿島の如く密接の關係ある片濱線が適當である片濱線は意欲通過を意欲を爲さずとし義を爲さぬから不可なり排除せんとするは諸君はどの主張である炭礦進出は餘りに眼識の乏しきならん想像論である仮りに實現するや

後として何十年何百年の、小名濱町有志家諸君よ些から敢て問題でないが他の拘泥せず宜しく社會の趨勢三點は何れも重要問題であるに鑑みて小名濱の將來に對るから果して支障を生ずるして百年の大計を誤らざることを吾人も賛意を表する 權宏量の標度を放きて御反が併し鹿島線と片濱線とは省あらんことを特に小名濱未だ確的の測量を見ず從つ町の爲める切望する次第でて距離の懸隔不明なるが現ありませぬ

在の里程に徴して僅々二三哩の相違と認むれば片濱線を経由する場合此の二三哩の延長の爲めに裏日本の連絡貨物の集散國防上の關係に如何なる欠陥ありや諸君は此點に付き少しも其理由を述べてないから折角の御名論も龍頭蛇尾の感ありて徒らに反對せんが爲めの片濱通りには中ノ作江名の

募集

營業部員 一名
年齢 十七才以上
小名濱在勤 二十五才迄
活動的で明朗な青年を求む
活動的で明朗な青年を求む
(住込を希望す)
日常警新聞社

小名濱局 特設電話 開通

電話一七五番

丸八鐵工場

小名濱町築港入口

モートル、ラデオノ修理、販、買
其ノ他電氣材料一式
船船用發電機一式
長山電機商會
小名濱町古港六八
電話一六五番

屋號 藤助
電話一七〇
丹野松太郎
小名濱町上町五六

電話一七九番
松本徳次郎
小名濱町松ノ中

移轉御通知

諸機械及各種ポンプ製作
並に修繕取付建築金具
ボールド類
小名濱町中町(五左工門隣)
田中鐵工場
主 田中勝榮
酸炭接器の設備
自動車修繕部

眼科一般

小名濱眼科醫院

町濱名小

計寫エペ防コ
眞ナイ |
量機メ |
材メン |
器料ルト劑 |

資生堂

小名濱町中島電話一四七番



高醫一化
級般療
賣藥器
品具品藥

寶屋

藥舖

小名濱町古港 電話三十九番

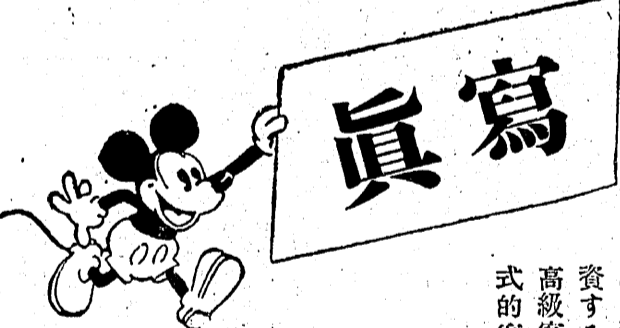
魚市油部
三井生命保險株式會社 代理店
大正火災保險株式會社

磐城水産工業株式會社

小名濱町築港内 電話一四四番

外務員募集(有給定固)

大日本正生命保險株式會社
大日本正生命保險株式會社
所督監平
平町南三番地
電話(呼)三八一六



寫眞

自然研究から世の人のために
時代形像を記録して後世に傳送する更に社會藝術化に
資する大慈大悲主義の寫眞
高級寫眞とは精神と個性技能の作品にして抵級なる形
式的寫眞に非ざるなり御批評も乞ふ

美學寫眞技藝員
金井晃明
金井晃園

江名港

二見寫眞部